

岩手県商工会青年部連合会 令和5年度事業計画書

令和4年4月 1日から

令和5年3月31日まで

我が国を取り巻く状況は、新型コロナウイルス感染症の影響が薄れ、ウィズコロナ・アフターコロナの段階に入ったことが肌で感じられるようになってきたものの、ロシアのウクライナ侵攻に端を発する物価・原材料高騰等が実生活に影響を及ぼしており、先が見通せない状況が続いています。

県内経済においても、人口減少・少子高齢化による市場の縮小に加え、感染拡大を防ぐための自粛や、インバウンド需要の急激な減少等の影響は色濃く残っており、生活様式の変化で、営業活動にもIT技術を使いこなすことを今までより強く求められる等、地域の企業は事業の形態を変化させながら経営を存続するべく奮闘しています。

このような状況の中、令和5年度の岩手県青連としては、「未来探求～よりよい明日を求め続け、次代へ未来へ繋げる～」をスローガンとして掲げ、リーダー研修会をはじめとする各種事業を実施いたします。

このスローガンは、我々青年部が困難な時代の中でも試行錯誤と切磋琢磨を繰り返し、様々な事業を推進実行していくことで、地域の人たちのよりよい明日を、地域のよりよい未来を創れるよう、想いを込め策定しました。

令和5年度は東北六県北海道商工会青年部交流研修会が当県で開催されるため、各道県からの参加者をしっかりと迎え、実りある大会とするべく運営にあたることとなります。さらに、本年度より令和7年度商工会青年部全国大会の誘致に向けて本格的な活動を開始することになるため、開催規模は違いますが、県外から部員を受け入れる数少ないシミュレーションとしても、東北六県北海道商工会青年部交流研修会の成功は欠かせないものと位置付けています。

この大きな二つの事業は、スローガンに込めた次代へ繋げるための我々の力を、大きく伸ばしてくれるきっかけになると、確信しています。

また、組織強化活動については、全国的な青年部の課題となっている後継者不足と部員数減少という大きな課題を解決するため、県下全青年部員が一丸となって部員増強を推進し組織基盤の強化を図るとともに、青年部活動の魅力を積極的に発信します。

令和5年度は役員改選期であるため、令和4年度までの事業計画や熱意を途切れさせないよう、令和4年から準備をしてきました。半世紀以上、先人たちから脈々と受け継がれてきた青年部のバトンをしっかりと次へ繋げるべく、全身全霊で活動を行っていきます。

事業計画の詳細は次頁以降に記載いたします。

1 研修・研究活動

後継者・若手経営者としての資質向上を図るため次の事業を行う。

(1) 商工会青年部リーダー研修会の開催

ア 第1回 開催日 令和5年7月6日～7日(予定)

場 所 山田町「山田町中央公民館」

内 容 青年部主張発表岩手県大会等

イ 第2回 開催日 令和5年11月15日～17日

場 所 群馬県高崎市

内 容 ①第23回青年部全国大会(含む青年部主張発表全国大会)
②先進地視察研修等

(2) 第29回東北六県・北海道青年部員交流研修会の開催(本県幹事)

開催日 令和5年8月22日～23日

場 所 盛岡市「盛岡グランドホテル」

内 容 青年部主張発表東北六県・北海道ブロック大会等

(3) 県青連移動研修会の実施

県青連の研修会は、リーダー研修会以外はほとんどが盛岡での開催となることから、部長、副部長以外の部員が参加するハードルが少し高いという意見を受け、事業運営委員会を中心に運営をおこなうもの。

本年度はリーダー研修会を開催する東部ブロック以外で実施予定。

(4) 次世代後継者育成塾の開催(岩手県別枠補助金を活用予定)

自社の課題解決や、自社の強みを生かした経営計画策定、円滑な事業承継のための計画づくり等を目的に次世代後継者育成塾を岩手県商工会連合会と連携しつつ開催する。

(5) 経営革新計画承認に向けた取組み

県青連主催のセミナー参加や商工会連合会の事業等の活用を通じて青年部員が自社の生産性向上や経営力向上を図るとともに、経営革新計画法認定企業の輩出を目指す。

※令和5年度経営革新計画法認定企業 目標10件

(6) 運営研究会の開催

必要に応じて開催する。

2 組織強化活動

魅力ある青年部づくりを推進するため、部員の意識高揚を図りながら次の事業を行う。

(1) 青年部員増強運動の実施

全国的な課題である部員数減少を解決するため、部員の加入推進を図り、魅力ある青年部づくりに資するため、全青年部員一丸となって部員増強運動を組織的かつ積極的に取り組む。

(2) 未来の青年部リーダー育成事業

ブロックごとに選出された若干名の青年部員に対し、県青連理事会へのオブザーバー参加やリーダー研修会等の参加費助成等を通じ積極的に県青連事

業に関わっていただくことで、地域の若手経営者をけん引する次世代のリーダーを育成することを目的に実施する。

(3) 全青連全国統一事業「絆感謝運動」の実施

6月10日に各青年部において、地域や家族との“絆”を確認し、清掃奉仕活動、献血活動福祉施設慰問活動等を実施することで、全国の青年部員の一体感を創出し帰属意識の向上を図る。

(4) 青年部手帳の必携及び商工会カードの普及

全青年部員の青年部手帳の必携化を通じて、青年部への帰属意識の向上を図るとともに、地域需要の喚起・拡大、青年部財政基盤の強化を目的に商工会カードの普及促進を図る。

(5) I M P U L S Eマークの活用方法の検討

全青連によるI M P U L S Eマークの商標登録と取扱要綱の制定に伴い、本県におけるI M P U L S Eマークの活用方法や収益事業の可能性について引き続き検討を行う。

(6) 移動県青連の開催

県青連活動・各青年部活動の活性化を目的に移動県青連を開催し、県青連役員と参加青年部員が、幅広い意見交換を行うことで、今後の県青連事業への反映や意見提言等につなげる。

(7) 青年部活動のPRに係る事業

既存のホームページやF a c e b o o kに加え、I n s t a g r a m等も活用し、青年部活動を広くP Rすることで、魅力の発信、帰属意識の強化につなげる。

(8) G o o g l e W o r k s p a c eの普及推進

ドライブによる情報共有、M e e tによるオンライン会議及びチャット機能等を交流ツールとして活用しシステム理解を深め、青年部企業における経営に質する形での活用につなげる。

(9) 野外活動を通じた青年部員交流会

コロナ禍の影響で、青年部員同士が交流する機会が失われていることから、スポーツ等屋外活動を通じて交流を図り、情報交換等を行えるよう実施する。

(10) 岩手県商工会青年部オンラインサミットの開催

情報委員会が主導し、幹事青年部地域の紹介や、青年部事業に係る情報交換を通じ、参加者同士の交流を通じ帰属意識の醸成を図るためにW E B上で開催する。

3 青年部全国大会招致委員会の発足

岩手県内青年部のP Rや、次代の青年部員と全国の青年部員の交流及び東日本大震災や台風等各種自然災害への支援に対する感謝を発信するため、令和7年度の全国大会招致に向けて招致を具体化するための委員会を発足する。

(1) 青年部全国大会招致委員会開催予定

- ア 第1回 開催日 令和5年5月下旬
- イ 第2回 開催日 令和5年7月下旬
- ウ 第3回 開催日 令和5年9月上旬
- エ 第4回 開催日 令和5年12月上旬
- オ 第5回 開催日 令和6年1月上旬

5 災害支援体制の強化

平成28年度に策定した「災害対策マニュアル」に基づき、全青年部が大規模災害発生時に迅速な支援活動ができる体制を整備するとともに、自然災害引当金を通じて全青連100円玉募金や被災青年部等に対する義援金の拠出を行う。

また、全国商工会青年部連合会が主催する災害備蓄事業への参加・協力を行う。

6 広報活動

以下の活動を通じて県内全青年部及び青年部員による青年部活動や地域情報等の発信強化を図る。

- (1) 県青連公式HP等を通じたタイムリーな情報発信
- (2) 県連広報誌「商工会いわて」への記事掲載協力
- (3) 全国連「月刊商工会」への記事掲載協力

7 意見活動

- (1) 知事を囲む懇談会への出席
- (2) 岩手県議会商工観光政策研究会と岩手県商工会連合会との懇談会への参加

8 関係団体との連携強化

- (1) 東北六県・北海道商工会青年部連合会連絡協議会事業への参加・協力

ア 東北六県・北海道商工会青年部連合会連絡協議会通常総会・役員会

開催日 令和5年5月15日

場 所 青森県南部町

イ 第29回東北六県・北海道商工会青年部員交流研修会並びに主張発

開催日 令和5年8月22日～23日

場 所 盛岡市「グランドホテル盛岡」

内 容 青年部主張発表東北六県・北海道ブロック大会等

ウ 東北六県・北海道商工会青年部連合会連絡協議会会長会議

開催日 令和5年8月22日

場 所 岩手県

エ 東北六県・北海道商工会青年部連合会連絡協議会正副会長研修会

開催日 未定

場 所 未定

オ 東北六県・北海道商工会青年部連合会連絡協議会正副会長会議

開催日 未定

場 所 未定

- (2) 全青連事業への参加・協力

- ア 全青連通常総会
開催日 令和5年5月17日
場 所 東京都「アジュール竹芝」
- イ 都道府県青連リーダー研修会
開催日・開催場所未定
- ウ 都道府県青連会長会議・研修会
開催日・開催場所未定
- エ 全青連臨時総会
開催日・開催場所未定
- オ 第23回商工会青年部全国大会及び青年部主張発表全国大会
開催日 令和5年11月15日～16日
内 容 第23回青年部全国大会（含む青年部主張発表全国大会）
場 所 群馬県高崎市

(3) 青年友好4団体等関係青年団体の事業への参加・協力
必要に応じて参加協力する。

9 会議等の開催

(1) 通常総会

開催日 令和5年5月10日
場 所 盛岡市「アートホテル盛岡」

(2) 正副会長会議

必要に応じて開催する。

(3) 理事会

- ア 第1回 開催日 令和5年4月12日
場 所 盛岡市「岩手県商工会連合会館」
- イ 第2回 開催日 令和5年5月10日
場 所 盛岡市「アートホテル盛岡」
- ウ 第3回 開催日 令和5年 6月上旬
- エ 第4回 開催日 令和5年 8月上旬
- オ 第5回 開催日 令和5年11月上旬
- カ 第6回 開催日 令和6年 2月下旬

(4) 監査会

開催日 令和5年4月12日
場 所 盛岡市「岩手県商工会連合会館」

(5) 事業運営委員会（組織強化・研修・情報）

第1回青年部リーダー研修会に併せて開催する他、必要に応じて随時開催する。

(6) 青年部長会議

必要に応じて開催する。